

令和6年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

都道府県名	千葉県	市町村類型	II-2	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)																																																																																																																																																																
				財政健全化等	×	歳入総額	令和6年度(千円)			令和5年度(千円)	実質収支比率			令和5年度(千円・%)																																																																																																																																																															
市町村名	御宿町	地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳入総額		4,415,168	4,319,134	実質収支比率	10.3	11.9																																																																																																																																																																	
				首都	×	歳入歳出差引		300,376	341,711	経常収支比率	90.9	90.4																																																																																																																																																																	
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源		26,334	29,776	(※1)	(91.1)	(90.9)																																																																																																																																																																	
				中部	×	実質収支		274,042	311,935	標準財政規模	2,650,056	2,622,964																																																																																																																																																																	
人口	令和2年国調(人)	6,874	産業構造(※5)	過疎	×	単年度収支		-37,893	-24,391	公債費負担比率	9.0	10.0																																																																																																																																																																	
	平成27年国調(人)	7,315		山振	×	積立金		190,384	80,226	健全化判断比率																																																																																																																																																																			
	増減率(%)	-6.0		低開発	×	繰上償還金		0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																	
住民基本台帳人口(※7)	令和07.01.01(人)	6,912	第1次	指数表選定	○	積立金取崩し額		0	0	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)	6,825		145	182	実質単年度収支		152,491	55,835	実質公債費比率	4.7	4.9																																																																																																																																																																	
	令和06.01.01(人)	7,000	第2次			基準財政収入額		948,829	954,789	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																			
	うち日本人(人)	6,925		467	525	基準財政需要額		2,384,935	2,349,759																																																																																																																																																																				
	増減率(%)	-1.3	第3次			標準税収入額等		1,206,912	1,212,977																																																																																																																																																																				
	うち日本人(%)	-1.4	77.5	75.5	経常経費充当一般財源等		2,446,423	2,387,081																																																																																																																																																																					
面積(km ²)	24.85			歳入一般財源等		3,264,315	3,286,660																																																																																																																																																																						
人口密度(人/km ²)	277																																																																																																																																																																												
世帯数(世帯)	3,092																																																																																																																																																																												
職員の状況(※8)																																																																																																																																																																													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	2,594,933	2,835,123																																																																																																																																																																		
	市区町村長	1	7,600		一般職員	88	261,448	2,971	うち公的資金	2,233,286	2,395,913																																																																																																																																																																		
	副市区町村長	1	6,090		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	1,429,614	1,549,642																																																																																																																																																																		
	教育長	1	5,420		うち技能労務職員	1	*	*	債務負担行為額(支出予定債)	124,420	28,624																																																																																																																																																																		
	議会議長	1	2,700		教育公務員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																		
	議会副議長	1	2,260		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	25,000	25,000																																																																																																																																																																		
	議会議員	10	2,150		合計	88	261,448	2,971	積立金現在高	751,774	561,390																																																																																																																																																																		
					ラスパイレシ指数				97.5	減債基金	32,936	23,364																																																																																																																																																																	
										その他特定目的基金	819,681	794,129																																																																																																																																																																	
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(2) 国民健康保険特別会計</td> <td></td> <td>(5) 水道事業会計</td> <td></td> <td>(6) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3) 介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4) 後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10) 国保国吉病院組合(国保国吉会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12) 南房総広域水道企業団(水道用水供給事業)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13) 夷隅環境衛生組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 布施学校組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>														一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						(※3)	(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業会計		(6) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)										(3) 介護保険特別会計				(7) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)										(4) 後期高齢者医療特別会計				(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)														(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)														(10) 国保国吉病院組合(国保国吉会計)														(11) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)														(12) 南房総広域水道企業団(水道用水供給事業)														(13) 夷隅環境衛生組合(一般会計)														(14) 布施学校組合(一般会計)														(15) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)							
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																								
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						(※3)																																																																																																																																																																
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業会計		(6) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																							
		(3) 介護保険特別会計				(7) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)																																																																																																																																																																							
		(4) 後期高齢者医療特別会計				(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)																																																																																																																																																																							
						(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)																																																																																																																																																																							
						(10) 国保国吉病院組合(国保国吉会計)																																																																																																																																																																							
						(11) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																							
						(12) 南房総広域水道企業団(水道用水供給事業)																																																																																																																																																																							
						(13) 夷隅環境衛生組合(一般会計)																																																																																																																																																																							
						(14) 布施学校組合(一般会計)																																																																																																																																																																							
						(15) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																							

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	938,238	21.3	938,238	34.9	普通税	937,497	99.9	-	
地方譲与税	42,873	1.0	42,873	1.6	法定普通税	937,497	99.9	-	
利子割交付金	421	0.0	421	0.0	市町村民税	338,529	36.1	-	
配当割交付金	7,155	0.2	7,155	0.3	個人均等割	15,709	1.7	-	
株式等譲渡所得割交付金	10,771	0.2	10,771	0.4	所得割	292,189	31.1	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	24,258	2.6	-	
地方消費税交付金	161,232	3.7	161,232	6.0	法人税割	6,373	0.7	-	
ゴルフ場利用税交付金	17,809	0.4	17,809	0.7	固定資産税	541,480	57.7	-	
自動車取得税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	541,450	57.7	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	23,342	2.5	-	
自動車税環境性能割交付金	8,140	0.2	8,140	0.3	市町村たばこ税	34,146	3.6	-	
法人事業税交付金	11,014	0.2	11,014	0.4	鉱産税	-	-	-	
地方特例交付金等	29,285	0.7	29,285	1.1	特別土地保有税	-	-	-	
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	2,841	0.1	2,841	0.1	法定外普通税	-	-	-	
定額減税減収補填特例交付金	25,735	0.6	25,735	1.0	目的税	741	0.1	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	709	0.0	709	0.0	法定目的税	741	0.1	-	
地方交付税	1,526,319	34.6	1,436,122	53.5	入湯税	741	0.1	-	
普通交付税	1,436,122	32.5	1,436,122	53.5	事業所税	-	-	-	
特別交付税	90,146	2.0	-	-	都市計画税	-	-	-	
震災復興特別交付税	51	0.0	-	-	水利地益税等	-	-	-	
(一般財源計)	2,753,257	62.4	2,663,060	99.2	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	643	0.0	643	0.0	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	253,926	5.8	-	-	合計	938,238	100.0	-	
使用料	45,328	1.0	984	0.0					
手数料	27,216	0.6	-	-					
国庫支出金	375,555	8.5	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	207,146	4.7	-	-					
財産収入	19,338	0.4	18,745	0.7					
寄附金	46,931	1.1	-	-					
繰入金	91,965	2.1	-	-					
繰越金	341,711	7.7	-	-					
諸収入	183,630	4.2	1,945	0.1					
地方債	68,522	1.6	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	7,022	0.2	-	-					
歳入合計	4,415,168	100.0	2,685,377	100.0					

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	60,920	1.5	-	60,920
総務費	1,102,004	26.8	15,301	840,563
民生費	1,103,045	26.8	2,345	743,914
衛生費	616,453	15.0	96,772	327,264
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	84,576	2.1	8,629	52,353
商工費	140,889	3.4	8,202	91,710
土木費	156,152	3.8	101,962	89,238
消防費	230,461	5.6	13,200	216,345
教育費	300,551	7.3	9,588	247,019
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	319,741	7.8	-	294,613
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	4,114,792	100.0	255,999	2,963,939

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,680,809	40.8	1,322,977	1,222,653	45.4
人件費	880,312	21.4	806,509	803,657	29.8
うち職員給	492,718	12.0	460,707	-	-
扶助費	480,756	11.7	221,855	124,383	4.6
公債費	319,741	7.8	294,613	294,613	10.9
元利償還金	319,741	7.8	294,613	294,613	10.9
うち元金	308,712	7.5	283,642	283,642	10.5
うち利子	11,029	0.3	10,971	10,971	0.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	2,177,984	52.9	1,551,142	1,223,770	45.5
物件費	939,391	22.8	529,622	434,366	16.1
維持補修費	31,638	0.8	25,929	25,544	0.9
補助費等	561,268	13.6	496,115	463,814	17.2
うち一部事務組合負担金	292,215	7.1	292,215	292,215	10.9
繰入金	370,785	9.0	300,380	300,046	11.1
積立金	274,902	6.7	199,096	-	-
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	255,999	6.2	89,820	-	-
うち人件費	7,124	0.2	7,124	-	-
普通建設事業費	255,999	6.2	89,820	-	-
うち補助	49,637	1.2	8,583	-	-
うち単独	187,421	4.6	80,436	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	4,114,792	100.0	2,963,939	-	-

区分		令和6年度	令和5年度
徴収率	現・計	98.6	93.4
(%)	年	99.2	95.3
	純固定資産税	98.1	91.9

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	405,470	実質収支	17,854
病院	34,685	再差引収支	17,854
上水道	-	加入世帯数(世帯)	1,281
工業用水道	-	被保険者数(人)	1,813
交通	-	被保険者	92
国民健康保険	62,593	保険料(料)収入額	3
その他	308,192	国庫支出金	371
		保険給付費	

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

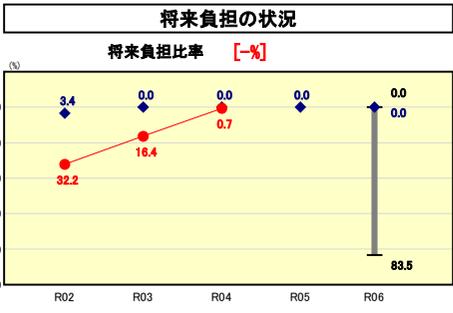
令和6年度

千葉県御宿町

人口	6,912	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	6,825	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	24.85	km ²	実質公債費比率	4.7	%
歳入総額	4,415,168	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,114,792	千円	市町村類型	R02 II-2 R03 II-2 R04 II-2	
実収支	274,042	千円	(年度毎)	R05 II-2 R06 II-2	
標準財政規模	2,650,042	千円			
地方債現在高	2,594,933	千円			



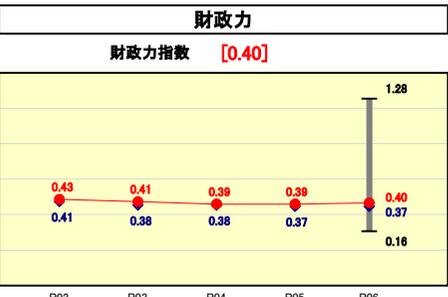
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレズ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



類似団体内順位 1/77 全国平均 6.2 千葉県平均 25.2

将来負担比率の分析欄

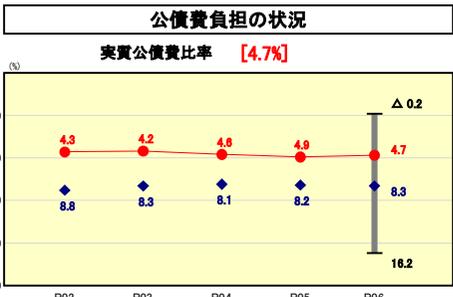
将来負担比率については0.0%を下回り、前年度と同様、算定されないこととなった。償還額が借入額を大きく上回り、地方債現在高が減少したこと、さらに、分子の控除要素となる充当可能基金が、財政調整基金の積立等により増加し、分子が減少したことが要因である。
 しかし、今後は老朽化した公共施設の対応等により地方債の増加や基金の取崩しが想定されることから、引き続き、現世代と将来世代との負担のバランスに配慮した地方債発行と計画的な基金積立を行い、安定した財政運営に努めたい。



類似団体内順位 19/77 全国平均 0.49 千葉県平均 0.69

財政力指数の分析欄

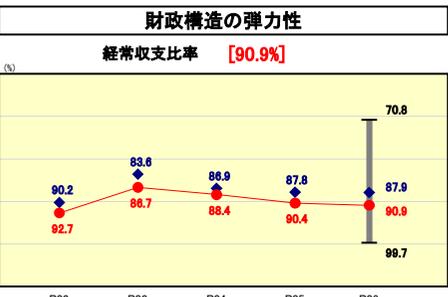
財政力指数については0.40となり、令和5年度と比較して0.01ポイント増加した。当町は大きな産業がなく法人数も少ないため、法人町民税の伸びはみられず、個人町民税と固定資産税が主な自主財源であるものの、高齢化と人口減少が著しい状況から、地方交付税に頼る財源構造は今後も継続することが想定される。滞納繰越分の徴収強化に取り組みとともに、歳出の徹底的な見直し進め、長期的に安定した財政運営に努める。



類似団体内順位 11/77 全国平均 5.6 千葉県平均 5.9

実質公債費比率の分析欄

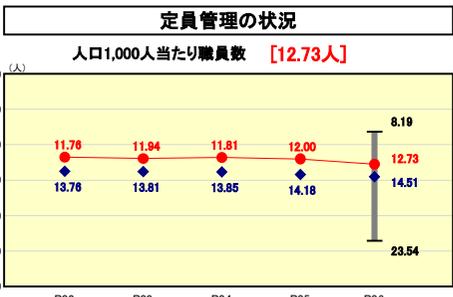
実質公債費比率については、4.7%となり、令和5年度と比較して0.2ポイント減少した。これは、平成15年度及び平成20年度借入の臨時財政対策債や平成7年度借入の上水道一般会計出資債の償還完了等により、分子となる元利償還金の額が減少したこと、また、分母となる標準財政規模が増加したためである。
 今後も公共施設等の老朽化対策による事業費の大幅な増加などで、増加傾向は避けられないと想定されるが、急激な比率の上昇が起こらないよう努める。



類似団体内順位 52/77 全国平均 93.8 千葉県平均 94.1

経常収支比率の分析欄

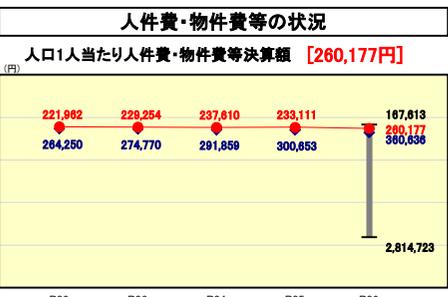
経常収支比率は90.9%となり、令和5年度と比較して0.5ポイント増加した。主な要因としては、分子である障害福祉介護給付費等の扶助費の増加が大きく影響している。これは、財政の弾力性を低下させる要因となっており、経常一般財源の適正確保に向け、一層の徴収強化などを行う必要がある。また、国と基調を合わせた歳出改革に取り組み、事業の見直しと効率的な行財政運営に努める。



類似団体内順位 21/77 全国平均 8.41 千葉県平均 7.56

人口1,000人当たり職員数の分析欄

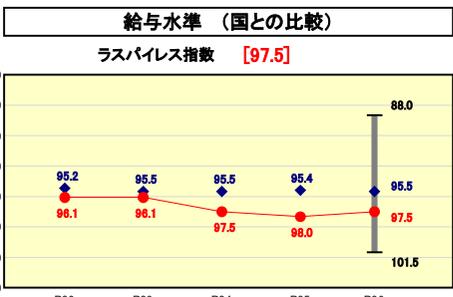
人口1,000人当たり職員数は12.73人となり、令和5年度と比較して0.73ポイント減少し、類似団体平均と比較すると概ね2人下回っている状況が続いている。
 令和3年度を初年度として新たに策定された計画では、より適正な職員配置の観点から5年間で5名の増員を計画しているため、人口減少を除けば当数値は今後増加傾向になる見込みである。



類似団体内順位 18/77 全国平均 189,281 千葉県平均 147,933

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人口1人当たり人件費・物件費等決算額については、26万177円となり、令和5年度と比較して27,066円増加した。物価高騰やDX推進によるシステム改修費など電算管理費の拡大が大きく影響している。類似団体と比較して10万459円下回っているのは、消防業務を一部事務組合が行っていることが主要因と考えられる。無駄のない簡素で効率的な事業実施に努めていく。



類似団体内順位 62/77 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4

ラスパイレズ指数の分析欄

ラスパイレズ指数については、97.5となり、令和5年度と比較して0.5ポイント減少となっている。町にとって適正でかつ住民の理解が得られる給与水準の維持に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

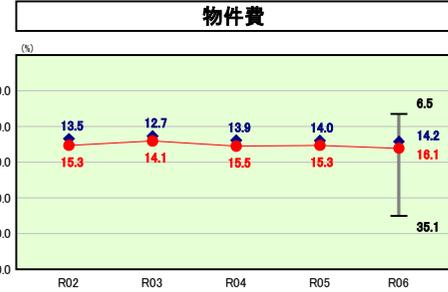
千葉県御宿町

経常収支比率の分析

人口	6,912	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	6,825	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	24.85	km ²	実質公債費比率	4.7	%
歳入総額	4,415,168	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,114,792	千円	市町村類型	R02 II-2 R03 II-2 R04 II-2	
実質収支	274,042	千円	(年度毎)	R05 II-2 R06 II-2	
標準財政規模	2,650,056	千円			
地方債現在高	2,594,933	千円			



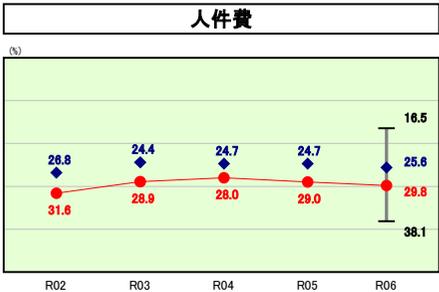
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登記されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 52/77 全国平均 15.6 千葉県平均 18.8

物件費の分析欄

物件費では16.1%となり、令和5年度と比較して0.8ポイント増加した。標準化に係る電算管理経費の増加などが影響している。今後は、物価高騰に加え、老朽化した町清掃センターの施設管理及び広域化協議にかかる経費の大幅な増加が見込まれることから、住民サービスを適正に執行するため、事務の効率化、簡素化、合理化により、数値の上昇を最小限に抑えていくよう努める。



類似団体内順位 62/77 全国平均 26.6 千葉県平均 28.1

人件費の分析欄

人件費における経常収支比率は、令和5年度と比較して0.8ポイント増加した。財政比較分析表内の定員管理の状況では、人口1,000人当たり職員数が、類似団体と比較が少ない状況であることを踏まえると、職員の組織構造が他団体と比較し、年齢または職位が高い職員の比率が高いことが考えられる。組織構造にも注視し、健全な財政運営に努める必要がある。



類似団体内順位 43/77 全国平均 10.7 千葉県平均 8.7

補助費等の分析欄

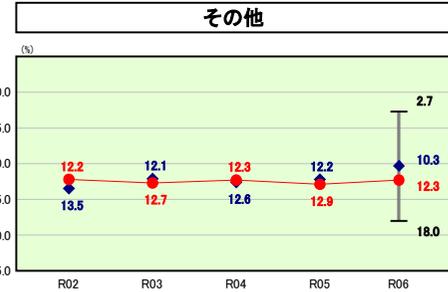
補助費等における経常収支比率は17.2%となり、令和5年度と比較して0.3ポイント増加した。広域常備消防負担金の増加が影響している。今後、一部事務組合への負担金や広域水道事業への補助金が増加することも見込まれている。各種単独補助金については、形骸化し前年度踏襲の傾向が強いため、内容の精査に踏み込み、終期を見極めて必要性が低いものは廃止に努めていく必要がある。



類似団体内順位 40/77 全国平均 13.4 千葉県平均 13.7

扶助費の分析欄

扶助費における経常収支比率は4.6%となり、令和5年度と比較して0.8ポイント増加した。障害福祉サービス介護給付費等の増加が影響し、増加となっている。引き続き、介護予防に重点を置いた施策を実施し、扶助費の増加を最小限に抑えるよう努める。



類似団体内順位 59/77 全国平均 12.5 千葉県平均 11.9

その他の分析欄

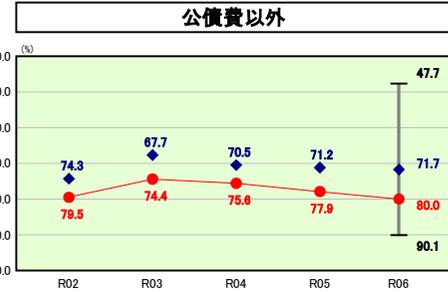
この項目には維持補修費及び繰入金が該当する。令和5年度と比較すると、被保険者数の減少等により特別会計への法定繰出金の減少が影響し、0.6ポイント減少した。今後は、道路維持管理事業などの公共施設の維持補修費は増加し、老朽化等により本比率の増加が見込まれることから、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、計画的かつ効率的に取り組み、より適切な対応に努める。



類似団体内順位 18/77 全国平均 15.0 千葉県平均 12.9

公債費の分析欄

公債費における経常収支比率は10.9%となり、令和5年度と比較して1.6ポイント減少した。平成15年度及び平成20年度借入の臨時財政対策債や平成7年度借入の上水道一般会計出資債の償還完了等が主たる要因である。今後も現世代と将来世代との負担のバランスに配慮した地方債発行に努める。



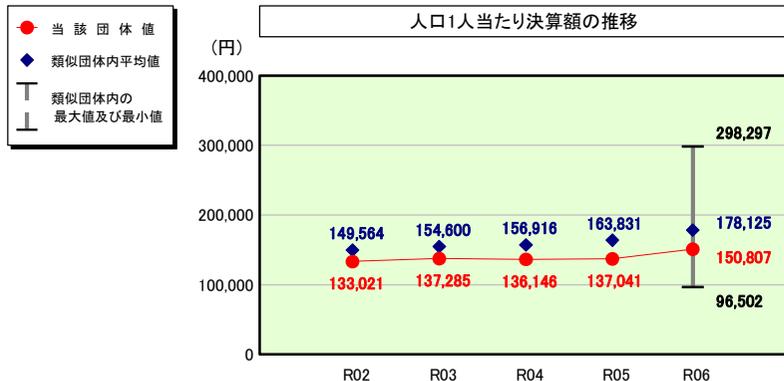
類似団体内順位 63/77 全国平均 78.8 千葉県平均 81.2

公債費以外の分析欄

物件費や扶助費への経常一般財源の増加等により、令和5年度と比較して2.1ポイント増加した。今後はさらに、DX推進に伴う電算管理に係る委託料及び使用料等の増加や超高齢化に伴う扶助費の増大、一部事務組合等への補助費の増加が見込まれ、また、物価高騰の全体的な影響も懸念されるため、踏み込んだ事務事業の見直しを図るとともに、安定した持続可能な財政構造の確立に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	880,312	127,360	156,369	▲ 18.6
一部事務組合負担金(補助費等)	187,582	27,139	21,449	26.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,663	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	34	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	27,479	3,976	5,566	▲ 28.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	7,124	1,031	3,589	▲ 71.3
▲退職金	▲ 60,122	▲ 8,698	▲ 10,547	▲ 17.5
合計	1,042,375	150,807	178,125	▲ 15.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12.73	14.51	▲ 1.78
ラスパイレス指数	97.5	95.5	2.0

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

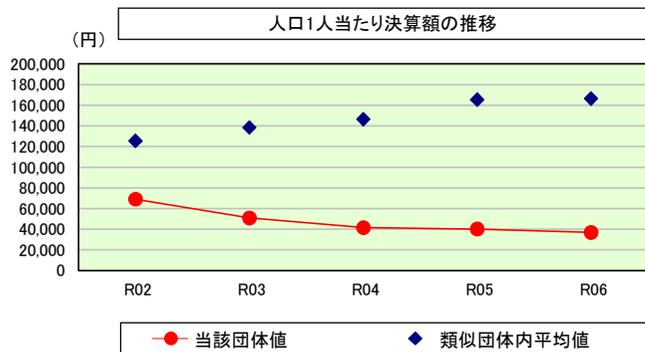
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	319,741	46,259	89,268	▲ 48.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	-	-	17,003	-
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	22,278	3,223	5,039	▲ 36.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	909	-
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	25	-
▲特定財源の額	▲ 3,520	▲ 509	▲ 4,913	▲ 89.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 236,599	▲ 34,230	▲ 72,657	▲ 52.9
合計	101,900	14,742	34,674	▲ 57.5

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R02	505,248	69,098	13.2	125,391	▲ 13.6	26.8
うち単独分	429,808	58,781	65.1	68,516	▲ 18.2	83.3
R03	367,100	50,979	▲ 26.2	138,402	10.4	▲ 36.6
うち単独分	261,340	36,292	▲ 38.3	70,652	3.1	▲ 41.4
R04	295,446	41,530	▲ 18.5	146,367	5.8	▲ 24.3
うち単独分	216,718	30,464	▲ 16.1	79,441	12.4	▲ 28.5
R05	281,200	40,171	▲ 3.3	165,181	12.9	▲ 16.2
うち単独分	209,737	29,962	▲ 1.6	82,246	3.5	▲ 5.1
R06	255,999	37,037	▲ 7.8	166,234	0.6	▲ 8.4
うち単独分	187,421	27,115	▲ 9.5	89,789	9.2	▲ 18.7
過去5年間平均	340,999	47,763	▲ 8.5	148,315	3.2	▲ 11.7
うち単独分	261,005	36,523	▲ 0.1	78,129	2.0	▲ 2.1

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

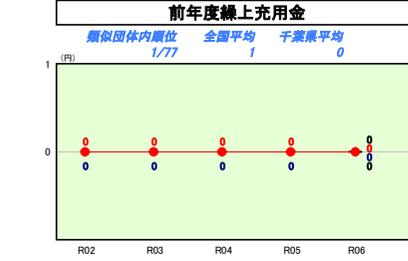
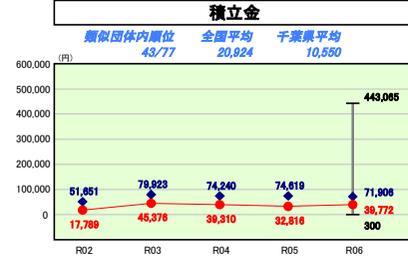
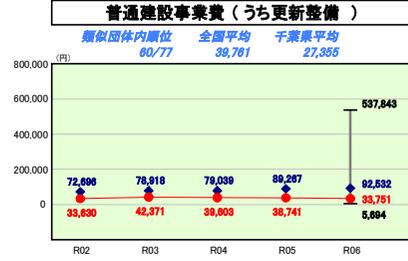
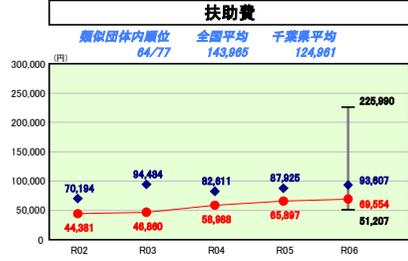
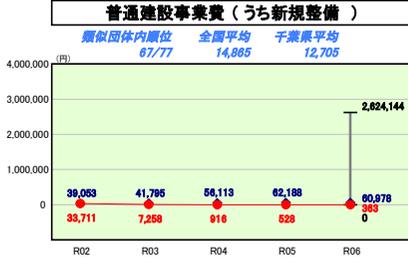
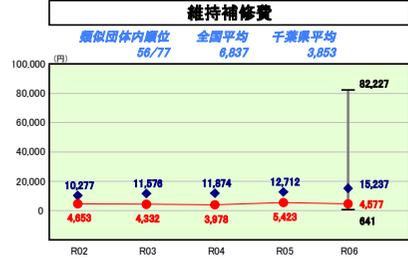
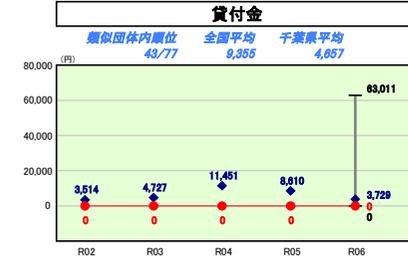
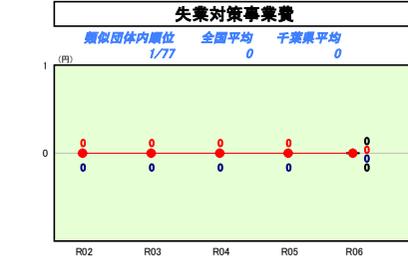
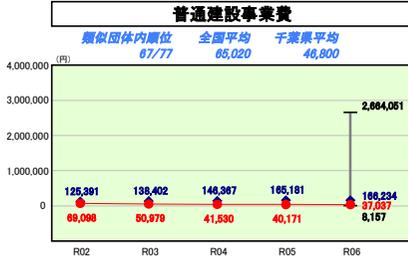
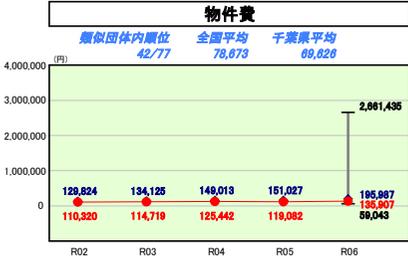
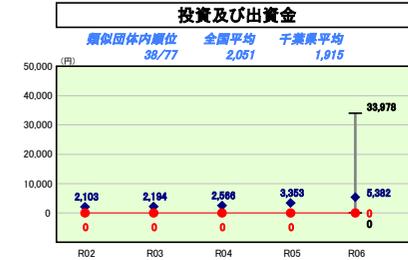
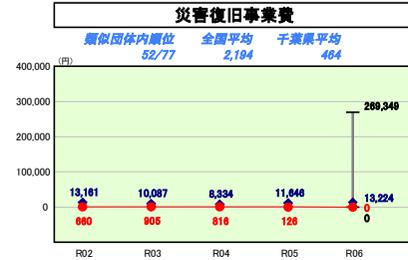
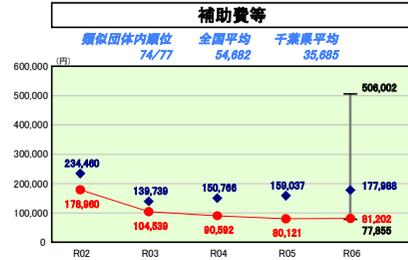
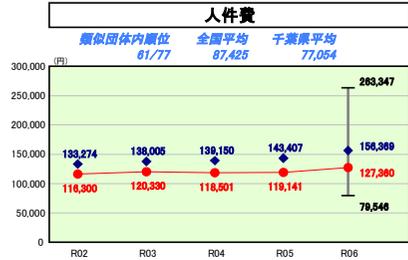
令和6年度

千葉県御宿町

人口	6,912人(77.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	6,825人(77.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	24.85km ²	実質公債費比率	4.7%
歳入総額	4,415,168千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,114,792千円	市町村類型	R02 II-2 R03 II-2 R04 II-2
実質収支	274,042千円	(年度毎)	R05 II-2 R06 II-2
標準財政規模	2,650,056千円		
地方債現在高	2,594,933千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概

人件費については令和5年度と比較して8,219円増加している。人口の減少が影響していると考えられる。会計年度任用職員の人件費について、改めてその職の必要性や代替手段等を検証するとともに、制度趣旨を的確に捉えて配置し、抑制に努める。扶助費については、住民一人当たりのコストは6万9,554円となっており、著しい高齢化の状況や高額な障害福祉サービス介護給付費の増加に伴い増加傾向にある。しかしながら、少子化が急速に進んでいるため児童手当の扶助費が少ないこともあり、類似団体と比較すると低い水準にあると考察する。

普通建設事業費については、3,134円の減少となっている。これは、令和5年度に実施したトンネル長寿命化修繕計画策定委託やB&G体育館屋根補修工事などが影響している。類似団体と比較して非常に低い水準にあるが、今後は施設の老朽化に伴い急激に増加することも見込まれ、積立金も類似団体と比較すると低い状況にあることから、計画的に予算配分していく必要があると考える。

全体的にみると類似団体と比べて住民一人当たりのコストは低い水準にある。これは、当町の面積が小さく、施設の集約化ができてきているため、比較的効率的に行政サービスが提供できる地理的環境にあることがいえる。引き続き事務事業の簡素化、効率化に取り組んでいく。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

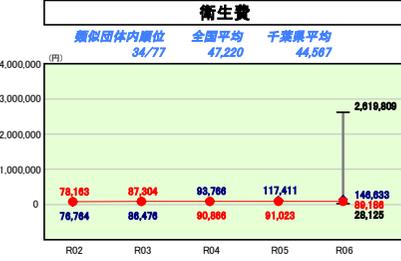
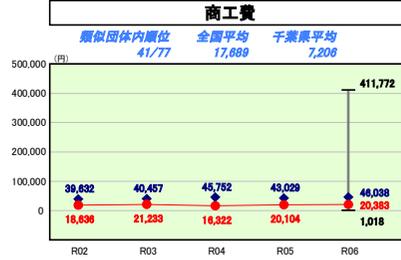
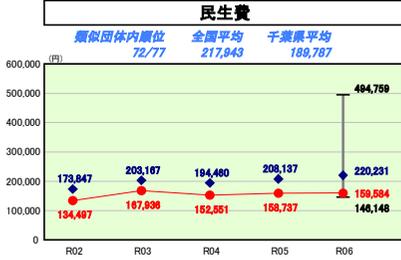
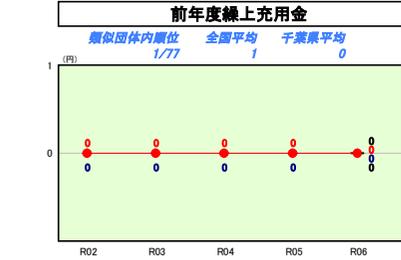
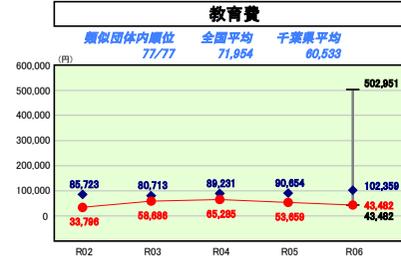
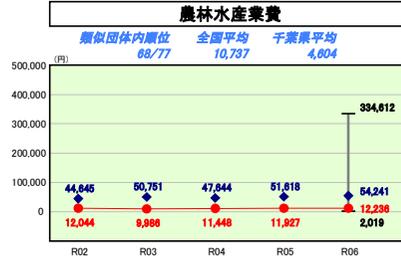
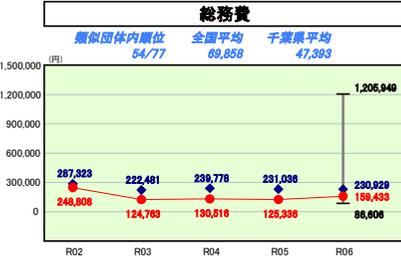
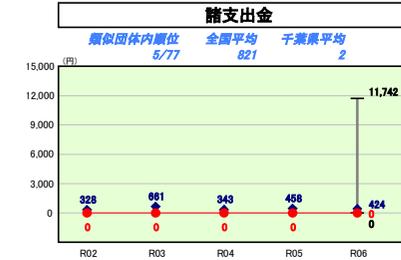
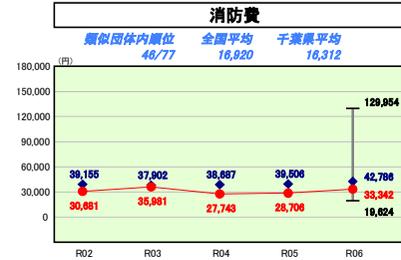
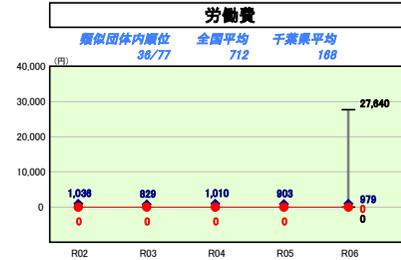
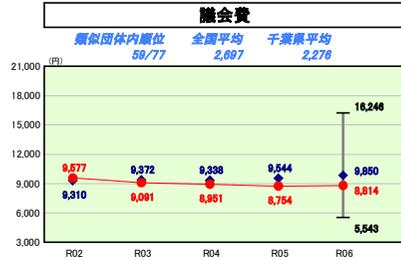
令和6年度

千葉県御宿町

人口	6,912人(77.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	6,825人(77.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	24.85km ²	実質公債費比率	4.7%
歳入総額	4,415,168千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,114,792千円	市町村類型	R02 II-2 R03 II-2 R04 II-2
実質収支	274,042千円	(年度毎)	R05 II-2 R06 II-2
標準財政規模	2,650,056千円		
地方債現在高	2,594,933千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

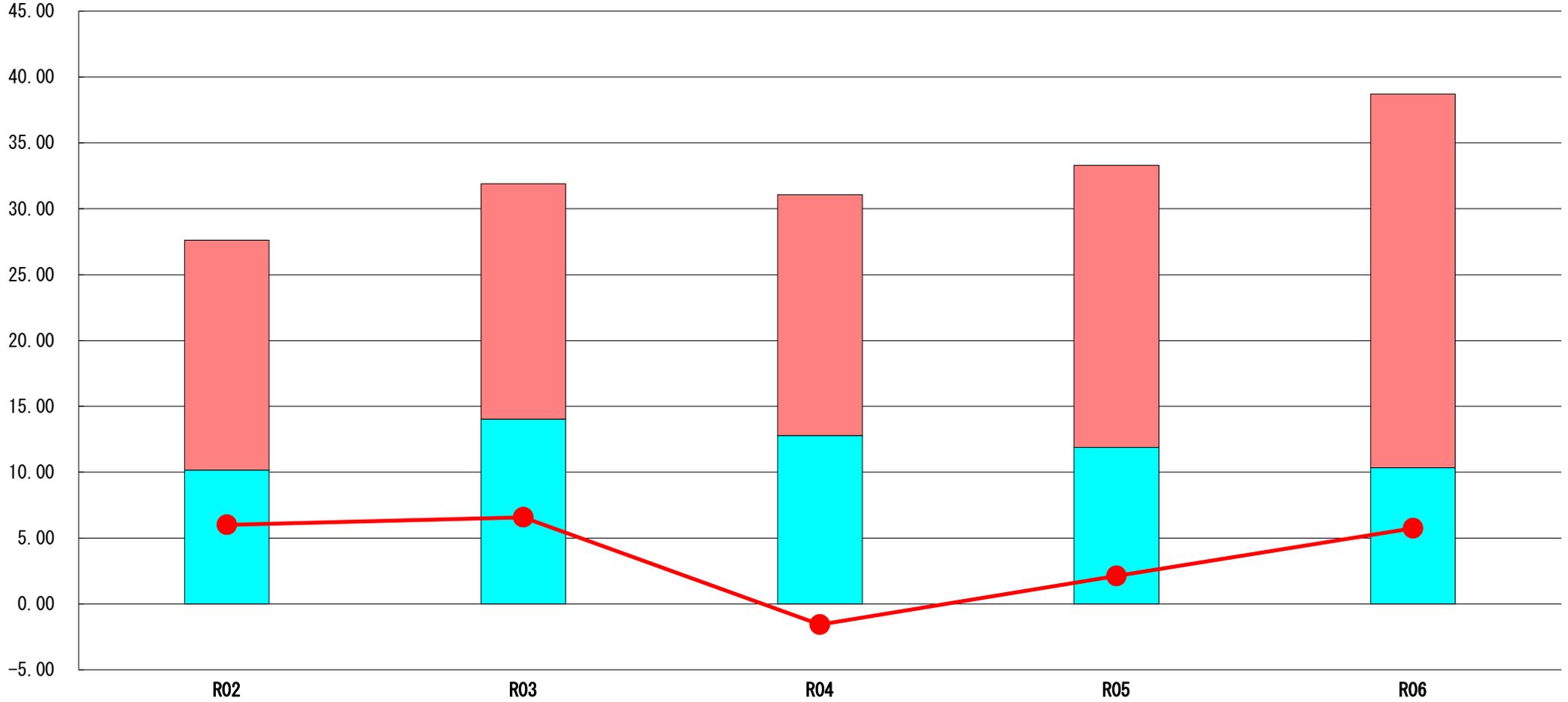
総務費は住民一人当たりのコストが15万9,433円となり、令和5年度と比較して3万4,097円増加しているのは、標準化に係る電算管理経費の増加などが影響している。
 民生費は住民一人当たりのコストが15万9,584円となり、令和5年度と比較して847円増加しているのは、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業(一体)の実施、介護給付費の増加など社会保障経費の伸びなどが影響している。
 消防費は住民一人当たりのコストが3万3,342円となり、令和5年度と比較して4,636円増加しているのは、広域常備消防負担金の増加が影響している。
 教育費は住民一人当たりのコストが4万3,482円となり、令和5年度と比較して1万1,777円減少しているのは、令和5年度のB&G体育館屋根補修工事の影響によるものである。
 全体的に類似団体平均を下回っているのは、性質別決算分析で述べたことと同様であり、比較的効率的に行政サービスが提供できる地理的環境にあることがいえる。引き続き事務事業の簡素化、効率化に取り組んでいく。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和6年度

千葉県御宿町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		17.46	17.87	18.29	21.40	28.37
 実質収支額		10.16	14.03	12.78	11.89	10.34
 実質単年度収支		6.02	6.58	▲ 1.56	2.13	5.75

分析欄

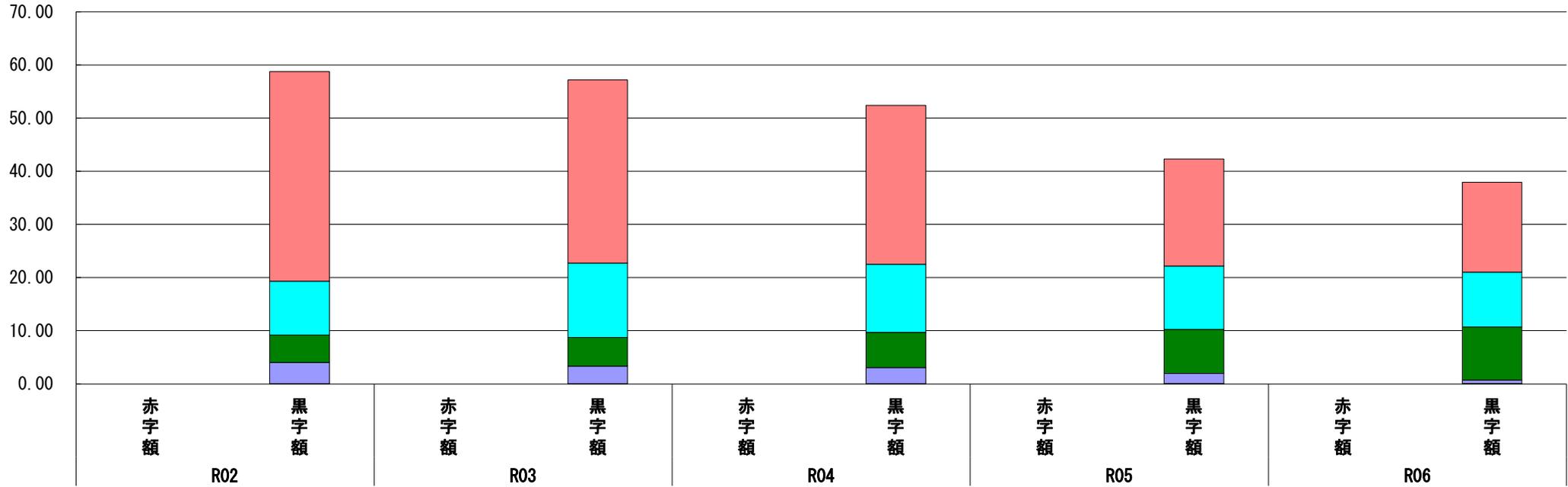
財政調整基金は、平成22年度以降同水準で推移してきたが、令和2年度以降の積立に伴い、標準財政規模比28.37%となった。公共施設等の老朽化対策や小学校校舎更新に向けて特定目的基金への積立てが必要な中、不測の財政事情に対応できるよう財政調整基金については決算剰余金を中心に管理を行い、健全な財政運営に努める。実質収支については、令和6年度は10.34%となり、1.55%減となったものの、標準財政規模に対する割合は高い状況にあるため、当町の財政運営の課題や特性を踏まえながら改善に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和6年度

千葉県御宿町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
水道事業会計		39.42	34.46	29.91	20.17	16.87
一般会計		10.16	14.02	12.78	11.89	10.34
介護保険特別会計		5.13	5.37	6.63	8.28	10.00
国民健康保険特別会計		4.02	3.33	3.07	1.91	0.67
後期高齢者医療特別会計		0.01	0.01	0.02	0.08	0.05
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	-	-	-	-

分析欄

令和6年度も歳計現金や資金の不足は生じてこないことから、連結実質赤字比率は該当とならない。

令和6年度は普通交付税の再算定による追加交付があったため、標準財政規模が増加した。一般会計、国民健康保険特別会計において実質収支が減少したため比率は縮小しており、水道事業会計は収益の減少に加え総費用が増加し、黒字構成比率は近年減少傾向にある。また、介護保険特別会計については、実質収支が増加したため比率が拡大した。

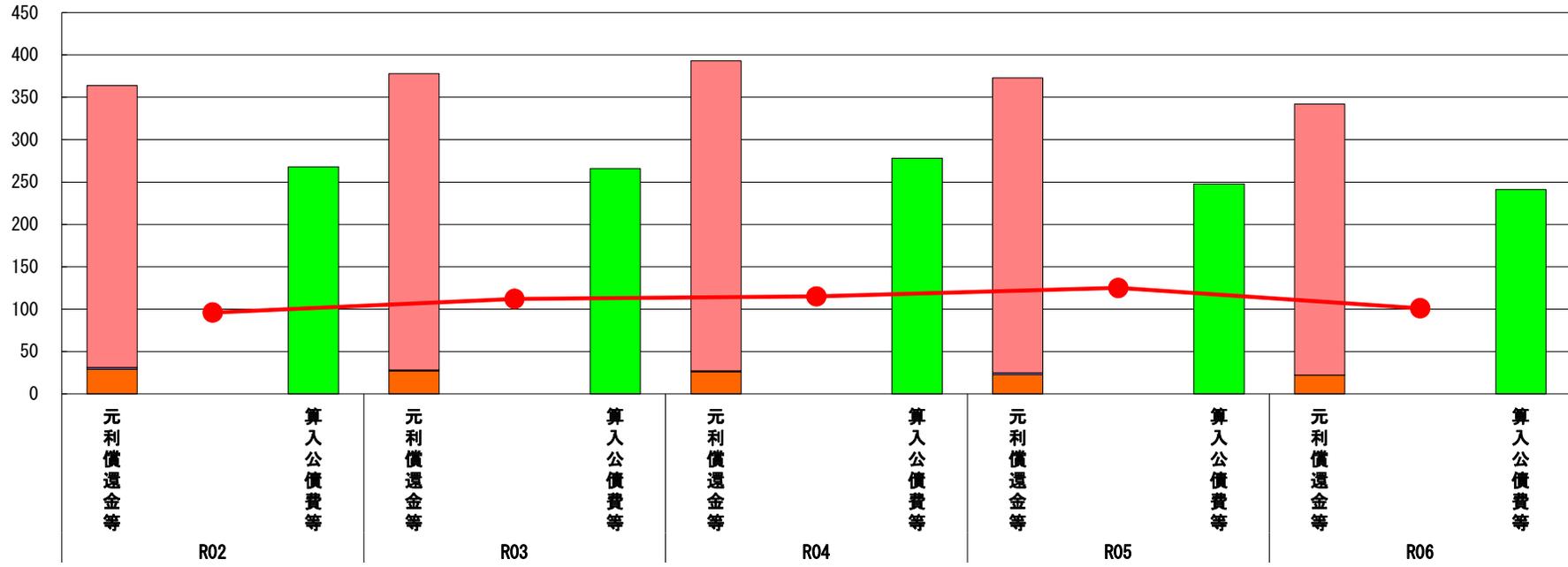
総額では令和5年度に比べて令和6年度は黒字額が減少しているが、今後も引き続き安定した財政運営に努める。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県御宿町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等(A)	元利償還金		333	350	366	348	320
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		2	1	1	2	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		29	27	26	23	22
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利息		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		268	266	278	248	241
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		96	112	115	125	101

分析欄

元利償還金は、平成15年度及び平成20年度借入の臨時財政対策債の償還完了等に伴い、概ね2,800万円減少し、算入公債費等も令和4年度のピークから減少したため、分子は減少となっている。
元利償還金は令和4年度にピークを迎えたが、今後の小学校校舎更新や広域ごみ処理事業のほか、老朽化した公共施設の改修など適正管理に係る大規模事業が続く見込みのため、実質公債費比率の分子も再び増加していくことが見込まれる。
引き続き、現世代と将来世代との負担のバランスに配慮した地方債発行に努め、持続可能な財政運営を行っていく。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高(D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額(E)		-	-	-	-	-

分析欄

本町においては満期一括償還方式による地方債は発行していません。これは、限られた財源の中、出来る限り経費の縮減のために行っているもので、元金の低減による金利負担の長期的な削減に向け、元利均等償還方式を選択しているところです。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

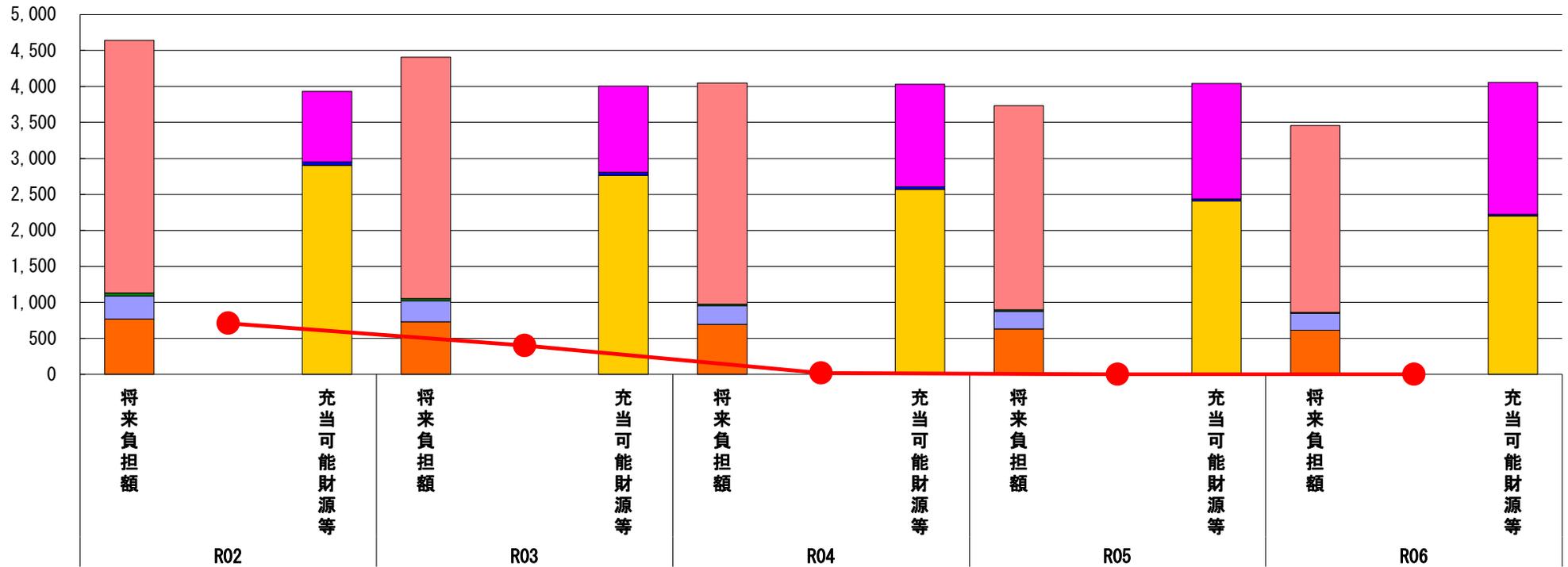
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県御宿町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		3,512	3,354	3,074	2,835	2,595
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		40	30	19	19	14
	組合等負担等見込額		320	290	260	246	232
	退職手当負担見込額		770	732	694	631	616
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		981	1,197	1,423	1,604	1,829
	充当可能特定歳入		48	43	37	29	22
	基準財政需要額算入見込額		2,903	2,766	2,570	2,409	2,203
(A) - (B)	将来負担比率の分子		711	400	18	▲ 310	▲ 597

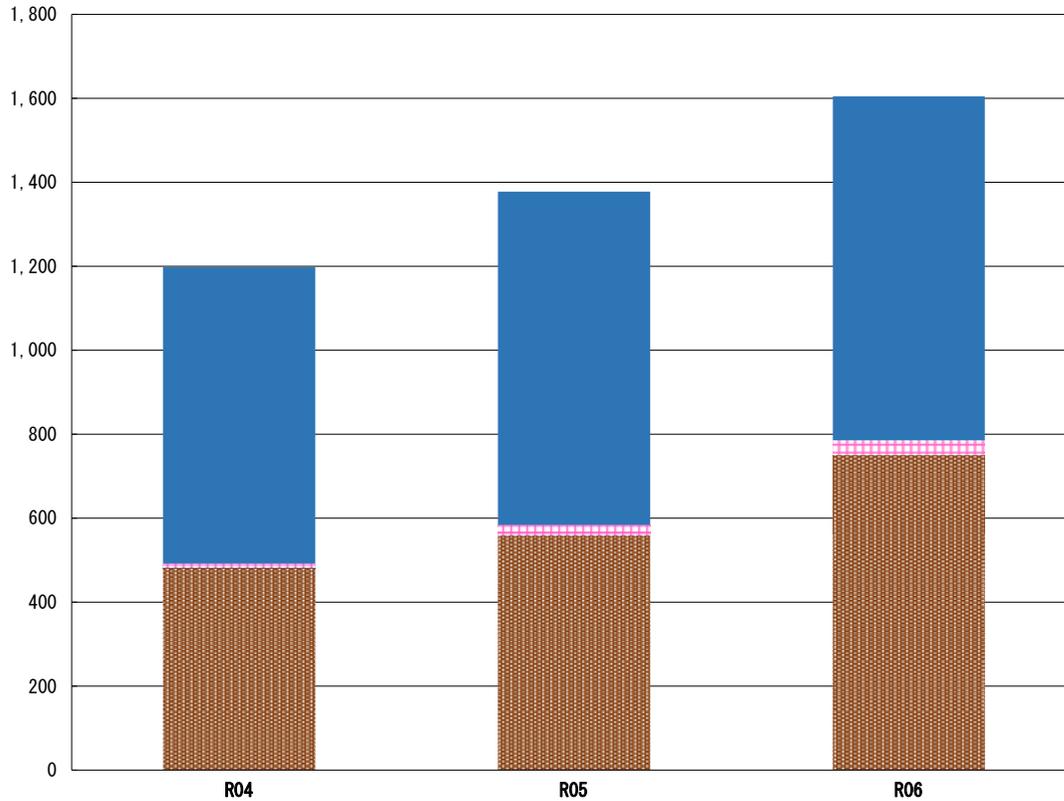
分析欄

過去5年間の推移をみると、大規模事業等にかかる地方債の発行により増加傾向となっていた将来負担比率（分子）が、臨時財政対策債発行可能額の縮小傾向等により借入額を抑制できたことから地方債現在高の減少等により、比率も減少している。また、充当可能基金については、教育施設建設基金や公共施設維持管理基金等に積立を行ったため増加となったものの、ふるさとづくり基金については寄附傾向の変化や物価高騰の影響等により寄附額が伸びず減少傾向である。

今後、将来負担額については、小学校校舎更新や広域ごみ処理事業等の大規模事業により増加が見込まれることから、単年度財政負担の軽減と公平性の観点から、負担を平準化するとともに、住民に理解される負担水準での地方債発行や基金積立を行い、健全な財政状況を維持する。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		481	561	752
減債基金		11	23	33
その他特定目的基金		706	794	820
教育施設建設基金		358	408	408
公共施設維持管理基金		157	207	208
活力あるふるさとづくり基金		90	80	83
庁舎施設維持管理基金		50	50	70
消防施設整備基金		15	15	15
基金残高合計		1,199	1,379	1,604

令和6年度

千葉県御宿町

基金全体

(増減理由)

・決算剰余金を中心に財政調整基金に1億9,000万円、また、特定目的基金について、老朽化が進む庁舎の維持管理に対応するため庁舎施設維持管理基金に2,000万円を積立てたこと等が影響して約6,000万円の増となり、基金全体としては約2億2,500万円の増加となった。

(今後の方針)

・小学校校舎更新事業について、協議が硬直し、基金の積立て及び取崩しが計画とずれてきているものの、老朽化に伴う事業であるため進捗状況により大きく動かす必要が想定される。
 ・公共施設維持管理基金等の特定目的基金については、今後、令和4年度に策定した公共施設等総合計画に基づき計画的に運用し、老朽化した施設の改修等に向けて状況を見極めながら、将来世代の負担に配慮した地方債発行とのバランスを勘案しつつ、長期的な目線での安定した基金運用に努める。

財政調整基金

(増減理由)

・1億9,000万円の積立及び利息分の増。

(今後の方針)

・財政調整基金の残高は、少なくとも標準財政規模の20%を維持できるよう努めていく。
 ・近年頻発する災害等による緊急の財政負担を勘案して範囲内上限まで積立を行いたい。また、令和3年度以降は標準財政規模が拡大していることや社会情勢なども見極めながら、年度間の財源調整に対応できるよう適正に残高を管理していく。

減債基金

(増減理由)

・普通交付税（再算定）における臨時財政対策債償還基金費分の積立及び利息分の増

(今後の方針)

・普通交付税（再算定）の臨時財政対策債償還基金費分の積立及び取崩しが生じるものの、令和4年度が公債費のピークであったため、現段階では中期的には大幅な公債費の増加など減債基金に頼る状況にはないものと考えている。

その他特定目的基金

(基金の用途)

・教育施設建設基金：校舎更新を予定している小学校建設をはじめ、教育施設の改修等のための財源
 ・公共施設維持管理基金：町公共施設の安全性及び機能性を維持するため、施設の維持補修を適正かつ計画的に行うための財源
 ・活力あるふるさとづくり基金：①幻想の世界「月の沙漠の旅」づくり事業 ②世界に発信「人類愛の輪」事業 ③夢を育む人にやさしいまちづくり事業 ④活力があふれ賑わいを生むまちづくり事業 ⑤住民協働による豊かな暮らしと安心安全なまちづくり事業
 ・庁舎施設維持管理基金：老朽化が深刻な庁舎の維持管理のための財源
 ・消防防災施設整備基金：消防防災施設の円滑な整備のための財源（除却含む）

(増減理由)

・教育施設建設基金：利子分の増
 ・公共施設維持管理基金：利子分の増
 ・活力あるふるさとづくり基金：寄附金の増加に伴う増
 ・庁舎施設維持管理基金：庁舎の老朽化に伴う対応を見据え積立てたことによる増
 ・消防防災施設整備基金：利子分の増

(今後の方針)

・教育施設建設基金：小学校校舎更新事業の進捗により、優先的に積立、取崩しを行っていく。
 ・公共施設維持管理基金：公共施設等総合計画に基づき、施設の統廃合も含めた適正管理のため、積立てや取崩しを適宜行っていく。
 ・活力あるふるさとづくり基金：寄附者の意向を適切に事業に反映し、速やかな取り扱いができるように努める。
 ・その他特定目的基金：公共施設維持管理基金と並行して庁舎等主要施設についても、老朽化対応に向けた維持管理基金の運用を行っていく。